

NPO応援講座 ☆はじめてでもOK! 会計担当になったあなたのためのNPO 会計の基礎知識

日時：7月25日(月) 13:30~16:00
 場所：千葉市民活動センター会議室

(千葉都市モノレール「市役所前」駅徒歩1分・
 千葉中央コミュニティセンタービル1階)

講師：伊庭洋司さん (NPOクラブ理事・相談担当スタッフ)
 対象：NPO法人の会計担当者、理事

定員：20名(先着順)
 受講料：2,000円
 内容：NPO法人の会計基礎編/日常業務の留意点/
 「管理費」「事業費」の考え方と配分/
 会計帳簿・帳票などの記帳 他
 ★個別相談あり(要予約)

地域の資源ひと・もの・資金を活かし
 地域を元気にする仕組み

地域資源循環システム「ちばのWA!」事業から

東日本大震災 被災地支援の街頭募金報告

東日本大震災では、被害の甚大さから長期間にわたる継続的支援が必要と思われます。NPOクラブとちばNPO協議会の呼びかけで、震災から1カ月目の4月11日、JR千葉駅前街頭募金を行いました。県内NPO15団体30名が参加し、パネルやチラシを使って募金を呼びかけました。



この日集まった募金は17万5442円。他に12日にJR本八幡駅前で行った分や個人からの募金を合わせ、総額は31万335円となりました。寄付先、寄付金額について協議し、NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会「佐原町並み支援金」、日本財団ROADプロジェクト、被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)へ寄付しました。街頭募金に参加したメンバーからは「被災地のために何かしたい、役に立ちたい、と思っていたので行動することができてよかった」「多くのNPOが同じ思いを共有しながら活動できてよかった」との感想をいただきました。

■「東日本大震災被災地支援金」ご寄付のお願い

引き続き、支援活動を行うNPOへの寄付を広く呼びかけていきます。民が民を支える寄付の仕組み「ちばのWA!基金」として受け付け、全額を被災地・被災者を支援する千葉県内のNPOへ助成していきます。

寄付の方法

- クレジットカードでオンライン寄付(一口2,000円から)
 - ・「公益ポータルサイトちばのWA!」内で手続き
 - ・<http://chibanowa.canpan.info/>
 - 郵便振替による寄付
 - ・郵便振替口座 00160-9-567553 NPOクラブ
- ※通信欄に「被災地支援金」と明記してください。

物品提供システム 「NPO三尺店(さんじゃくだな)」報告



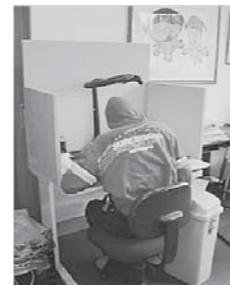
麗澤大学からの物品提供

株式会社イトーキ(東京都中央区)のご紹介で、柏市にある麗澤大学の新校舎移転に伴う備品の提供がありました。ちばNPO情報館に登録している3団体へ、机、いす、ホワイトボードなど計52点の物品を引き渡しました。



団体からの声

NPO法人 グループ彩 生活工房(成田市 知的・発達障がい者支援)



生活介護事業と自立訓練事業の利用者さんの日中活動のために大変便利に利用しています。とりわけ、パーテーション付きの机は、自閉症その他発達障がいのある人にとって、活動に集中できるので助かっています。

NPO法人 ウィズ柏

(柏市 高機能自閉症・アスペルガー症候群などの発達障害者支援)

パーテーションデスクは個別スペースとして利用し、ベンチは相談待ち合わせ用として有効に利用しています。



NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

(千葉市 公益的な活動をしている団体の支援)

回転いすをいただき、事務所の来客用・ミーティングスペースに使用しています。折りたたみいすを使用していた時と比べ、とても使いやすいです。

※物品提供システム「NPO三尺店」とは、市民や企業からNPOのために役立てて欲しいという物品を受け付け、公益ポータルサイト「ちばのWA!」内の「ちばNPO情報館」に登録し、情報公開している団体に提供されるプログラムです。これまで、13件323点を24団体に仲介しました。

編集・発行

特定非営利活動法人
 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)
 ■Tel:043-303-1688 Fax:043-303-1689
 ■〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-21-12
 ■e-mail npo-club@par.odn.ne.jp
 ■URL <http://www2.odn.ne.jp/npo-club>
 ■団体会員 52団体・個人会員 97人

News Letter

つぎの 一歩<くん>

NPOクラブは認定NPO法人を目指します
 ちばのWA!は公益財団法人を目指します



Vol.40 2011.06

特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

講座「今日からはじめるツイッター・新しいコミュニケーションのカタチ」

ソーシャルメディアを上手に使おう!

東日本大震災でもソーシャルメディアとしての力を見せ、注目を集めているツイッター。いつでも、手軽に、自由にメッセージをやり取りできるツイッターの活用方法を学び、団体の情報発信力を高めようと、5月26日にツイッター講座を開催しました。講師は日本財団システム統括グループの山田泰久(@canpan2009)さん。講座の内容をまとめました。

NPOこそソーシャルメディアを活用する

特定の報道機関が情報を発信する「マスメディア」に対し、個人が固有のIDで情報を発信し形成していくメディアを「ソーシャルメディア(ツイッターやブログ、Facebookなど)」といいます。個人の感想や口コミなどの情報を手軽に発信・収集することができるので、第三者の評価も得やすく、また共有、共感してほしい事柄を不特定多数に伝えることができるという利点があり、情報をもとにネットワークが広がっていくことが期待できます。

社会全体が積極的な情報発信、情報開示をする時代となり、またIT技術の進歩により、簡単で安価に情報発信ができる時代となってきています。団体としていい活動をしていても「情報発信」をしなければ、社会的課題も認識されず、活動も知られないまま終わってしまうことになりかねません。社会的課題について、また課題解決のために活動している団体に関心をもってもらうために、NPOこそソーシャルメディアの活用をお勧めします!



- NPOクラブのツイッター:<http://twitter.com/NPOclub>
- NPOクラブのブログ:<http://blog.canpan.info/npo-club1>

ツイッターの特徴

140文字のミニブログといわれるツイッターは、インターネットを利用したコミュニケーションツールで、国内のユーザーは約2000万人を超えるそうです。

1 情報発信

自分、団体、分野、社会のことなどを発信することで参加者、理解者、支援者を増やすことが期待できる。また「いい情報」と思ったらリツイート(RT)という転送機能を使って、情報の拡散が期待できる。

2 情報収集

分野やNPOの動向など手間をかけずに情報収集できるので、団体の活動にフィードバックすることができる。

3 コミュニケーション

興味のあるテーマや内容について発言している人とのコミュニケーションをとることで、ファンをつくることできる。

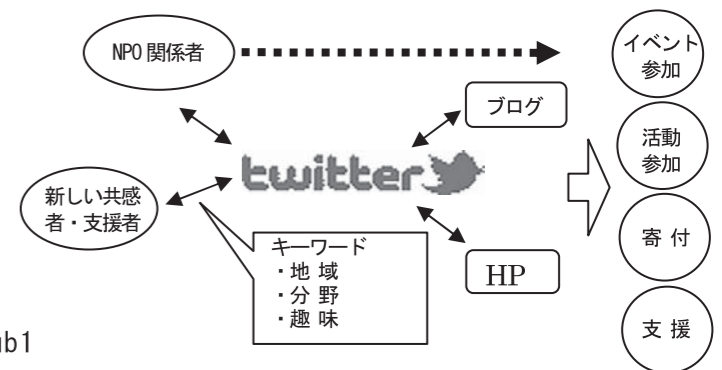
4 ネットワークづくり

地域、分野の視点で出会いを探すことができ、新たなネットワークが期待できる。

NPOが必要とする情報発信力

情報発信の手段は様々あります。例えば名刺やメールの署名欄を利用して活動を紹介する、団体のパンフレットや会報誌等でより詳しい内容を紹介する、ITを活用してホームページ、ブログ、メールマガジン等で発信するなど。そこに次のステップとしてツイッターという「入口」を用意することで、ツイッターからブログ、ホームページへの誘導、参加申込みや寄付などの具体的なアクションへつなげることができます。

ソーシャルメディア時代を迎え、ツイッターなどの情報発信ツールの特徴を把握し、NPOの情報発信に上手に使ってみませんか。



編集後記

「被災地の人たちのために何かをしたい」... 今多くのことができて、これからもその思いを持ち続ける事が大切です。

NPOクラブでは、ちばのWA!の募金活動、避難所支援の報告を開く会、防災連続講座(四街道みんな地域づくりセンター)などを開催します。そしてこれから何ができるかを考えていきたいと思います。

(か)

～今年度の抱負～

新たな地域づくりへ

NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 代表理事 牧野昌子

この度の東日本大震災は太平洋沿岸にかけて甚大な被害をもたらし、多くの方が被災されました。また、人災ともいえる福島第一原発のメルトダウンにいたる大事故は、収束への道筋が未だ確認できず、やむなく避難されている方々が多くおられます。私たちはこの大震災で命を奪われた犠牲者の方々に、心から哀悼の意を表します。そして、被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。

私たちはこの大震災の後、暮らし方や生き方を問い直し、何を大事にすればいいのかをひとりひとりが考えることになりました。これまでの経済成長中心に組み立ててきた社会のあり方に対して、だれもが安心して暮らせる地域はどうあればいいのか、市民が主体となってすすめる市民活動・ボランティア活動が担う役割が確認されたのです。

今年度は、これまで取組んできた「NPOの活動基盤の強化、環境整備」と「地域づくりに市民が主体となって参加すること」を基本に県内各地で広げていきたいと思ひます。

そのために、2008年度から取組んできた「地域資源循環システムちばのWA！」をいよいよ公益財団法人設立を目指します。多くの市民・企業の関わりを結び、共感を広げて地域づくりへの支援につなげていきます。

2000年から継続してきた助成活動は、生活クラブ生協千葉からの寄付金を主な財源として、67件、1713万円になります。2008年からは、団体の信用保証として「公益ポータルサイトちばのWA！」での情報開示をすすめ、企業から物品提供を受け、団体へ仲介する事業も実施しています。これは「民が民を支えるしくみ」として、千葉県から立ち上げ支援を受けて運営してきたものです。今年度は内閣府「新しい公共支援事業」の一環として千葉県民活動基盤強化事業が計画され、ちばのWA！の仕組みを使って展開されることになりました。この機会を逃さずに組織的にも、より多くの企業・市民の関わりを受け入れ、寄付金控除等の税制優遇が受けられるように別法人として切り離して運営するものです。

まずは、公益財団法人の基本財産となる300万円の寄付を呼びかけることからスタートします。主旨をご理解いただき、今後の地域づくりを担うNPOも共に多くの市民に働きかけをしていきたいと思います。

私たちNPOには、市民参加を促進するという大きな役割があり、この活動を契機に「新たな地域づくり」の一步を踏み出したいと考えています。

NPOクラブ

2011年度の事業内容のご紹介

これまでの事業をもとに「新しい公共支援事業」にチャレンジ!

◆NPOクラブの運営のカタチ

●認定NPO法人を目指します

より多くの市民に支えられた運営が実現できるように、寄付者が税制優遇を受けられる認定NPO法人になることを目指します。認定NPO法人の要件であるパブリックサポートテストの基準を満たすために、これまで会員サービスとして発行してきた「受講券」を中止します。(運営会員の会費は会費、一般会員の会費は寄付とみなされる)

●会員からの運営権限に対応し団体情報開示のサポートを行います

●理事会を年5回開催します

●4つのプロジェクトを運営します(会員であればプロジェクトメンバーはなれます)

1. ちばのWA！運営協議会(地域資源循環システム、公益ポータルサイト)
市民が主体的に参加する地域づくり、まちづくりを目的に「民が民を支えるしくみづくり」を行う。
2. 市民参加・協働プロジェクト
市民参加、協働に関わる施策の調査研究、セミナー開催、講師派遣を行う。
3. NPO専門家相談ネットワーク
「NPO法人会計基準」の標準化を推進する。セミナー講師派遣、情報交換、意見交換を行う。
4. 福祉作業所ものづくり応援プロジェクト
作業所を地域に開き支援者を広げるための具体的な検討など(共同受注の実験取組み、販路拡大の課題)を行う。

◆ボランティア活動や団体運営などについてご相談ください

- 市民やNPOからのボランティア活動相談、会計相談、マネジメント相談などを受けます。専門的な相談は専門家相談ネットワークメンバー(税理士、社会労務士、弁護士、会計士等)につなぎます。
- 県内のNPOを対象として、「会計」「事業報告書作成」「リスク管理」「IT活用」などのNPO応援講座を企画開催します。
- 「地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト」(全国会議)に参画し、NPOが情報開示をすすめ信頼を得て活動できるよう支援をします。

◆市民や団体をつないで豊かな社会に

- 「景観まちづくり千葉協議会」を継続運営し、県内で地域セミナーを開催します。
- NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局を担当し、情報紙「それ! YAPPE」の企画編集やちばユニバーサル農業ネットワークの活動をすすめます。
- ちばNPO協議会の事務局を担当し、県内NPOの情報交換や県行政との連携事業(県職員研修、シンポジウム等)を実施します。
- 「四街道市みんなで地域づくりセンター」のコーディネーターの研修にあたります。

◆お知らせしますNPOクラブのこと

年4回、ニュースレター「つぎの一步くん」を作成、発行、メールマガジンを月2回配信。NPOクラブの事業紹介や県内NPOの活動内容を紹介します。ホームページやブログを定期的に更新、タイムリーな情報提供を行います。

◆地域資源循環システムちばのWA事業をベースに財団法人を設立

- 地域資源(資金、物品、人材、情報、ネットワーク)の循環システムちばのWA!事業をベースに、多くの賛同者と基本財産となる資金300万円を集め、年度末に公益財団法人を設立します。
- ちばのWA!基金に「東日本大震災被災者、被災地支援をするNPO支援金」プログラムをつくり、市民に呼び掛け寄付を集めます。
 - NPOへの情報開示を呼びかけ、公益ポータルサイト「ちばのWA!」の「ちばNPO情報館」への登録団体を増やします。
 - 公益ポータルサイト「ちばのWA!」に物品提供「NPO三尺店」、人材、資金の循環を掲載します。
 - 内閣府「新しい公共支援事業」の県事業にチャレンジ、「ちばのWA!」事業を拡充します。

**市民、NPO、企業、行政それぞれの持っているチカラ
相乗効果で笑顔の数を増やそう!**

第11回定期総会・2009年度ちばのWA!基金 「一歩くん募金」助成団体報告会開催

6月4日、NPOクラブの第11回定期総会が開催されました。第1号議案「2010年度事業・活動報告」第2号議案「2010年度会計決算報告、監査報告」第3号議案「2011年度事業計画と予算」第4号議案「役員補充選出」すべてにおいて承認されました。後半は、「一歩くん募金」助成報告会。5団体による事業の報告がありました。助成を受けて実施した事業に真摯に取り組まれ、十分な成果があったと思われます。今後も団体運営や活動のステップアップが期待できるものです。



参加者で記念撮影

- NPO法人ウィズ柏(柏市)
「女性のための女性による広汎性発達障害共有支援事業」200,000円
障害の度合いが皆違うので、そのサポートすることができたこと、社会体験や悩みなどを共有することで、本人や家族に心のゆとりができたこと、また定期的に参加を希望する登録者も増えました。社会体験として行った家族との一泊旅行では、アスペルガー症候群などを持つ彼らを取り巻く社会状況からすればとても大切なことであり幸せなことであり、大きな成果と言えます。
- NPO法人千葉盲ろう者友の会(千葉市)
「通訳・介助員のレベルアップ研修会」500,000円
盲ろう者一人ひとり障害の程度やコミュニケーション手段が異なるため通訳・介助の方法もさまざまです。通訳・介助の知識及び技術のレベルアップを目的に、フォローアップ研修会を開催し、指文字の技術向上、音声通訳の意識向上に役立ちました。
- NPO法人やさしねっと結(木更津市)
「年間契約宅配野菜用畑の土壌改良事業」300,000円
畑の土の入れ替えを行ったことで、土の量が増えて畝を高くでき、夏野菜の収穫量

- が増えました。また、耕運機、一輪車、スコップなどを使って作業をすることで皆の士気が高まり、体を動かして健康になったと思います。
- NPO法人コミュニティワークス(木更津市)
「第6次産業での障がい者仕事づくりと工賃アップ～農業編」500,000円
耕運機やビニールハウス、簡易休憩所の設置など環境を整えることができ、生産、収穫率がアップし、収益が上がり、利用者の工賃アップにつなげることができました。さらに安定を図るため、地域の農業法人と提携し、農業技術の知識を指導を受けたり、不足している農業機器借りたりしています。また生産した作物を農業法人に安定して買い取ってもらおう予定となっています。
- ワーカーズコレクティブ風車(佐倉市)
「規模拡大プロジェクト・食器と一緒に理解も深める」500,000円
食器数を大幅に増やせたため、大口受注が受けやすくなり、昨年の千葉国体での受注がありました。大口を経験し、仕事の進め方や工夫ができるようになりました。地域のボランティアグループに手伝ってもらい、人のつながりが広がりました。ひきこもりや不登校の人にとって自主性や意欲が出てきたことが喜ばしいです。